

こまき市民活動ネットワークの“今”がわかる！

# ネットワークニューズレター

2008.5  
vol.4

特集

こまき版「協働ルールブック

(はじめの1歩)」完成！



- ・活動報告・・・P2
  - 小牧市女性の会
  - 「菜の花迷路であ・そ・ぼ！」
  - 兒の森活動グループ
  - 「里山の春を食べよう！」
- ・会員紹介・・・P3
  - (株)フジカネ
  - (特)心技塾ネットワーク
- ・お知らせ掲示板・・・P4
  - イベント情報
  - 支援金・助成金情報
- ・H20年度スタート！  
各委員長さんの  
熱〜いメッセージをお届けします！  
・・・P5

## 特集

# こまき版「協働ルールブック(はじめの一步)」完成!

このたび小牧市では、「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック(はじめの一步・理念編)」を作りました。

これは、市民、地域コミュニティ(自治会)、企業、そして小牧市が互いに協力し合って小牧をよりよい地域にしていくための約束事をまとめたもので、市民と小牧市役所の将来を担う各課の若手職員が昨年6月から10回に渡る話し合いを重ねました。

まず最初は、互いの長所・短所、自己の長所・短所について話し合いました。思った通り、「**行政はビジョンがない!いつもたらい回しだ!**」、「**市民活動は自己中心的!やりたいこと以外は興味がない!**」と普段のうっぴんを晴らすかのような意見が続出です。でも、互いの良い点についても「**行政は公平で責任感も強い!**」「**市民活動は専門性が強み!**」と認め合いながら意見交換が進みます。ですが、やはり市民活動は人・物・金のいずれにおいても十分な力をもっていません。会議では、安全安心なまちづくりの市民活動、外国人との多文化共生における市民活動を事例に、行政の課題と市民活動の課題、そして企業にとって何ができるのかを考えました。

さて、互いの長所・短所、行政の課題・市民活動の課題を材料に、**小牧らしさをどう盛り込んだらいいのか?他市のような難解なものにはしたくない!もっとわかりやすく!**と、実際に必要な内容を策定しました。午後から始まった打ち合わせは、あっという間に夜ということもありました。パブリックコメントの意見を真摯に受け止め、この会議の協働促進アドバイザーを務められた椋山女学園大学の武長先生のアドバイスに悩みながら、やっと理念編の完成にこぎつけたのは、当ネットワークが主催した市民まちづくりセミナー「協働ルールブック完成報告&討論会」の1週間前でした。

そして迎えた3月24日(月)に開催したセミナーでは、参加者の皆さんからいろいろな意見をいただきました。協働もいろいろな組み合わせがあります。そして、それが小牧市と市民活動だけとは限りません。愛知県や国との協働、もちろん企業、地域(自治会)と市民活動との協働により、素晴らしい地域にしていくことができる可能性も秘めているはず。課題は山ほどあります。小牧市の行政改革はもちろんのこと、ボランティアや市民活動が育っていく環境づくり、企業が社会貢献・地域貢献に取り組みやすくなる環境づくり、協働を促進するコーディネーターの育成など、今後の取り組みが大切です。

今回完成した理念編は、協働事業を行う場合の注意する点がとてもわかりやすく書いてあり、互いの立場や役割を理解し、共通の目標に向かって力を合わせるためのサポート役を果たしてくれると思います。ぜひ、現在進行中の協働事業のチェックや将来予定している事業の計画に使ってみてください。また、行政との協働事業や、企業・地域との協働事業を計画されている皆様、お時間をいただければこのルールブックの説明を承ります。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

さて、今年は6月から「実務編」の策定が始まります。次回はその経過報告をさせていただきますね!

(文責 「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック」策定委員会 委員長 秦野利基)

環境にやさしい社会を目指して～

## 菜の花迷路であ・そ・ほ！

4月19日（土）  
小牧市女性の会

岩崎地内にある1200坪の菜の花畑を使って、今年も「菜の花迷路であ・そ・ほ！」が開催されました。

これはCO<sub>2</sub>削減と休耕田の荒廃防止を目的に、こまき環境市民会議と市が取り組む「菜の花エコプロジェクト」事業の一つで、小牧市女性の会が企画・運営を行い今年で2年目となります。

当日は、約500名の参加者でにぎわい、シンセサイザー奏者・弥生さんの演奏をバックに、スタンプラリーや菜の花の写生をして楽しむ親子連れの姿が見られ、また、模擬店では、だんご・五平餅・木の芽でんがく・菜の花入りすいとんが用意され、香ばしい香りが辺り一面に漂い、模擬店の前には長い行列が途切れることなく大盛況でした。

この菜の花畑は、地元の個人の方の厚意で借りた休耕田を使い、＜種まき→観賞→刈り取り→油搾り→法隆寺に灯明用油を寄進・菜種油の利用（ドーナツ作り等）→油粕を堆肥として再利用＞と、環境に優しい循環型社会作りを実践し、また、参加した園児が感激したことがきっかけで、地元の幼稚園に保育の一環として自然体験をしてもらっています。

現在は、岩崎・鷹ヶ池・小木の3地区で行っていますが、小牧市の休耕田の多くに広げて行きたいと考えています。

（取材：こまき環境市民会議委員 平野志津雄）



お揃いのエプロンとオレンジのバンダナを身につけ、手際よく準備をすすめるスタッフ。

兒の森里山分校

## 里山の春を食べよう！

4月20日（日）  
兒の森活動グループ



自然の清々しい空気の中で味わう山の幸は格別！独特の風味豊かな春の味が口いっぱいに広がって、思わず顔がほころびます。

気温・風ともに穏やかによく晴れ渡った春の一日、参加者とスタッフ合わせて50名ほどが集まり、兒の森散策と山菜採りを行いました。

散策は兒神社からわくわく小屋に至る道行き数メートルおきに山菜があり、独特な酸味のあるイタドリ、香りのあるタンポポの花、山菜の代表格であるタラノメやコシアブラ、その他ウワズミザクラ、フジ、ハコベ、オニノゲシ、クローバー、カラスノエンドウなど、大人も童心に帰って夢中で採りました。

兒神社に持ち帰った山菜は、さっそくてんぷらやおひたし・サラダとなってテーブルに並べられ、にぎやかに会話が弾む中、春の味を心ゆくまで堪能しました。

日ごろ食材はスーパーやコンビニで買うのが当たり前の時代に、自らの手で自然の中から摘んだものを食べる体験は新鮮そのもので、子どもにとっても大人にとっても、豊かな自然の恵みを体感することができた、兒の森ならではの貴重な経験となり、春の山は食材の宝庫と再認識しました。

（取材：ネットワーク事務局 長谷川泰洋）

# (株)フジカネ

建材を取り扱う(株)フジカネ（小牧2丁目9番地）の3代目社長加藤紀文さんは、年々防犯に関する相談が増える中、防犯に限らず多様化する様々な地域住民の問題に触れる機会が多くなり、地域に密着した質の高いサービスを、地域の現状を熟知した専門家の力により解決する受け皿の必要性を強く感じるようになりました。そこで3年前、専門家の集団による暮らし・介護の総合相談所「ウェルサポート小牧」（小牧1丁目135番地）を立ち上げ、自らも福祉住環境コーディネーターとして、高齢者や介護の問題解決のために取り組んでいます。

ネットワークには設立と同時に入会し、仕事での知識と経験を生かし、交流委員会の安全・安心部会副部長として、安心・安全なまちづくりをテーマに活動する市内の市民活動団体の情報交換の場づくりに力を注いでいます。

「いろんな人と関わるのが楽しい！」という加藤さんは「仕事も市民活動も楽しくやらなきゃ」と、新しいことにもどんどんチャレンジ。今年4月には小牧商工会議所青年部有志で、小牧の情報を発信する携帯用ナビ『小牧ナビ』を開設。市内のお店情報・イベント・名産・天気・バスの時刻表などのほか、市役所のモバイルHPにもリンクし、市内のみならず市外から遊びに来た人にも役立つ情報を届けています。（取材：ネットワーク事務局 平手友子）



小牧ナビ見てくださいねっ！  
<http://www.just.st/?in=7202187>

---

## (特)心技塾ネットワーク

寄稿 代表理事 青山弘光さん

平成14年2月に企業人OBと現役13名が参集して、永年、培ってきたスキルを次世代に伝承していく事がこれからの社会創りに重要ではないか、と意見が一致。有志を募集の結果、会員34名の任意団体としてスタート、以来6年間、68回の月例会を開催し、会員の相互啓発と交流を図ってきた。

会のモットーは「磨く、助け合う、楽しむ」で、過去の職歴や役職は一切関係なく一人の人間として社会にどう向き合っ取り組んで行くかが、大切な姿勢となっており、安全、安心なまちづくりや地域の活性化、次世代人材の育成に活躍している会員も多い。

しかし、社会の現場では「ありがとう」「おもしろい」「感謝」「もったいない」の気持が失われつつある事を憂い、メンバーが例え微力であっても、新しい社会創りに参画し、一役を担うことが大切であると法人化を決意し、このたび、認証取得と設立登記を完了した。

事業展開のコンセプトは「伝えて行きたい心と技」と決定し、法人化記念公開講演会（無料）を開催する運びとなった。今後、個人の有志をどれだけ組織化し、企業、自治体等との協働による活動成果を期待される。

※ 法人化記念公開講演会については、P4のイベント情報をご覧ください。

# お知らせ掲示板

## ◎イベント情報

### ■特定非営利活動法人 心技塾ネットワーク・発足無料公開講演会

演題 『人生で一番大切なもの』 講師 継鹿尾山 寂光院 山主 松平実胤氏  
日時 平成20年5月28日(水) 午後3時～5時(質疑応答30分含む)  
会場 大同特殊鋼・健保会館大会議室(名古屋市熱田区神宮町2 Tel. 052-671-1186)  
※名鉄「神宮前駅」より南へ徒歩6分、秋葉山神社裏。地下鉄「伝馬町駅」より5分  
\*立食懇親交流会 午後5時～7時 参加費3千円(小牧関係者は2千円)  
申込み・問合せ 〒485-0052 小牧市多気中町297番地  
特定非営利活動法人 心技塾ネットワーク(青山) 電話/FAX:0568-73-7928

### ■ミュージカル劇団『スパーク』2008 自主講演「その後の桃太郎」

日時 平成20年6月29日(日) 開演:14時(開場13時30分)  
場所 味岡市民センター講堂  
チケット 500円(出演者より購入できます)  
※こまき市民活動ネットワーク事務局にてのご案内できます  
問合せ 19～22時 峰雪(0568-75-7838) 中山(0568-77-0995)

## ◎支援金・助成金情報

※各助成金に関する詳しい情報はHPをご覧ください。小牧市市民活動センター(公民館4階)のパソコンもご利用できます。

### ■小牧商工会議所 H20年度地域づくり事業支援金

応募締切 H20年6月30日(月) 午後5時(厳守)  
問合せ先 小牧商工会議所総務課(72-1111)

### ■財団法人みずほ福祉助成財団 H20年度(第28回)「社会福祉助成事業」

障害児者に関する事業及び研究  
応募期間 H20年7月末日必着  
<http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi/index.html>

### ■社会福祉法人 丸紅基金 H20年度(第34回)「社会福祉助成金」

国民福祉の向上に資することを目的とした社会福祉事業  
応募期間 平成20年6月30日まで(月)  
<http://www.marubeni.co.jp/kikin/recruiting.html>

### ■特定非営利活動法人 ゆめ風基金

障害者市民防災活動に対する助成  
応募期間 申請受付期間は特に設定していません。事業を計画した時に申請してください。  
<http://homepage3.nifty.com/yumekaze/index.htm>

### ■ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

応募期間:2008年6月2日(月)～6月16日(月) \*実施企業:ファイザー株式会社  
<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/index.html>

### ■Panasonic NPOサポート ファンド “子ども分野で活動するNPOの基盤強化”

応募期間:毎年7月頃(※2007年は7月20日～7月31日に実施)  
\*実施企業:松下電器産業株式会社  
<http://panasonic.co.jp/cca/pnsf/>

## ♥H20年度スタート！

### 各委員長さんの熱～いメッセージをお届けします！

#### ◆ 総務委員会

総務委員会がスタートして2年目を迎えました。昨年は定款や運営細則の見直しに重点を置いて活動をしてきましたが、今年も引き続き、会のルールや仕組みを整理し、ネットワークを陰でサポートしていきます。どうぞよろしく願いいたします！

(委員長 松浦裕計)

#### ◆ ふれあい委員会

##### 市民まつり「げんき村実行委員」大募集！

今年も市民まつり・小牧山会場の「親子であそぼ！！げんき村」をネットワークで開催します。今年はお店される団体で実行委員会を立ち上げ、企画・運営を行っていきます。参加して下さる団体は**5月31日(土)**までに事務局までご連絡下さい。3年目を迎える「げんき村」。みんなの力を合わせて、ぜひ今年も成功させましょう！

(委員長 出口美紀)

#### ◆ 交流委員会

小牧市内の市民活動団体の充実・発展を支援するのが私たちの役目。19年度後半に1回行った4分野情報交流会は、予想以上の参加があり好評でした。今年度は更なるお役立ちを目指し、4分野について各2回の実施を決めました。参加団体相互の活動が見えるように、またお互いにレベルアップが図れるよう工夫します。ネットワークの存在価値を高めるよう懸命に取り組みます。ご声援を！

(委員長 末松雅彦)

#### ◆ 研修委員会

今年はNPO講座を3回、まちづくりセミナーを1回開催します。NPO講座は、自分の特技や想いを社会貢献につなげていくきっかけづくりの場だと思います。今年も会員のみなさんを交えて実行委員会を立ち上げ、企画の段階から一緒に考えていきたいと思っています。みなさんの“やりたい！”をぜひ研修委員会に入って提案してください。ご参加を心よりお待ちしております！

(委員長 丹羽明人)

#### ◆ 団塊世代委員会

団塊世代のみなさんの中には「これからは社会のために恩返しをしたい」と思っている方も多と思います。そうした方に市民活動の面白さを伝え、新しい発見、生きがいを見つけていただくお手伝いできればと思っています。団塊パワーに寄せられる期待も多い中、私たちと一緒に活動してみませんか。メンバー大募集中です！

(委員長 松田敏弘)

#### ◆ 広報委員会

今年は、当ネットワークと会員の皆さんのPRに力を入れ、各種イベントに出展して、会員の皆さんの色々な活動を発信したいと考えています。PRになる各種情報(会員募集！やイベントPRなど)をお寄せください！現在10名の広報委員会ですがメンバーを大募集中です！お時間のあつ方、ぜひ、広報委員会で楽しい情報紙づくりにチャレンジしてみませんか。

(委員長 秦野利基)

#### 「市民活動ガイドブック」更新へ

「市民活動ガイドブック」(2005年度版)の更新のため、市民グループのリストアップ作業に入りました。刊行まで1年余にわたる一大事業です。会員のみなさんには随時、ご協力をお願いすることになりますが、よろしくお含みください。

(副委員長 本田貞子)

#### ◆ 事務局

新人事務局スタッフも、ここ数ヶ月で業務に慣れ、どんどん力を発揮しています。皆様が円滑に活動できるよう、いろいろな場面での支え役となっていけるよう努力していきたいと思っています。皆様のご意見・ご要望など、どんな些細なことでも、ぜひお寄せ下さい。そして、事務局へ気軽に遊びにいらしてください。お待ちしております。

(事務局次長 伊藤かおり)

編集後記：今年度から事務局でニュースレターを発行することになりました。会員のみなさんの声を、活動を、ぜひ事務局までお寄せ下さい。また、ご連絡いただければ、どこへでも取材に伺います！(ひ)

ネットワークニュースレター第4号

◎発行・編集：特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク ◎発行日：2008年5月15日

〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 小牧市公民館4階

TEL:(0568)74-4011 FAX:(0568)74-4070

e-mail:info@npo-komakinet HP:http://www.npo-komakinet/